

# 丹波の森若者塾

丹波地域の高等学校の高校生が、丹波地域で活動を行う大学や地域団体と連携しながら、1年を通じて地域課題解決のための研究活動を行う事業です。

## 氷上高校

酵素力価を活かしたサラダチキンの製造

～原材料100%氷上高校産を目指して～

ひかみ菌。丹波市で生まれた麹菌で、地名が入った菌はひかみ菌だけだそう。地元で生れた菌を使って麴を造り、その可能性を広げたいと思い、ひかみ菌を使っておられる西山酒造さんから頂いた「ひかみ、氷上高校専用菌」を活かすプロジェクトが始まりました。100%氷上高校産を目指す為、生産ビジネス科の米と鶏肉を使用し、サラダチキン塩麴味の開発を開始。サンプルを造り、東洋食品工業短期大学を訪問。奈賀先生の指導の下、検証実験を行いました。結果、ひかみ氷上高校専用菌は旨味成分も多く、肉質が軟らかくなったことがわかりました。そして今まで研究してきた塩麴味のサラダチキンを実際に販売しました。今後もサラダチキンの製造・販売を継続していき、氷上高校の名物にしていきたいです。



## 篠山東雲高校

放置竹林を活用したヤギ小屋作り

～地域の方の憩いの場を目指して～

私たちは地域資源の活用と地域活性化について研究しています。重要伝統的建造物群保存地区に指定されている福住地区における環境保全と景観を良くするため、環境美化に取り組んでいくことになりました。今年度は、前年度考案したヤギ小屋の組み立てを軸に活動を行いました。地域に開けた学校を目指す為、ヤギ小屋の周りをリノベーションし、地域の方の憩いの場にしようと関西大学の皆さんとともにヤギの生態に合わせ見に来た人が楽しめる小屋の作成を目指しています。木材と放置竹林の竹を用いて行い、完成後はベンチやフラワーポットを作成し、3月上旬頃にヤギ小屋を完成させました。今後も放置竹林などの資源を利用して、地域の景観保全や地域貢献に取り組み、より良い動物の環境づくりをしていきたいです。



## 篠山鳳鳴高校

丹波篠山市の夕日の謎を解き明かそう！

このテーマは鳳鳴高校と鳳鳴高校周辺で撮影した夕日の色が日によって違うのはなぜか疑問を持ち、「なぜ日によって夕日の色は変わるのか」「篠山の夕日は何色に変わることができるのか」2つの問を立てました。まず人が普段見ている光を可視光線と言い、光の波長の距離によって近い順に紫・青・黄・オレンジ・赤に見え、波長が短いと光は散乱しやすく、長いと散乱しにくくなります。光は空気中の水分や塵に当たり散乱する為、湿度が高いと水蒸気が増え散乱しやすく、赤っぽい夕日が見え、湿度が低いと水蒸気が減り散乱しにくく黄色っぽい夕日が見えるのではないかと考えました。今後は本当に湿度の違いが関係しているのかを検証する為、湿度と夕日を再現する実験を行い他地域との夕日の違いの探究も進めていきます。



夕日の疑問



## 氷上西高校

関西大学佐治スタジオと連携して地域活性化に取り組む

「丹波市の課題を高校生の視点で考え地域と連携して解決する」を目的として活動し佐治スタジオさんを始め、様々な地域の方にお世話になっています。探究班の一つ「にゃんハビ」は猫の殺処分をゼロにする事を目的に活動しています。現在、1年間に約9500匹の猫が殺処分されているそうです。NPO法人たんばコミュニティーハブさんは、この現状を止める為、毎月譲渡会を開き里親探しをされています。私たちは譲渡会でグッズ販売や募金活動をし、集まった募金は猫の不妊手術や医療費に充てられています。皆さんにもご協力いただくと嬉しいです。動画班では丹波の魅力を発信しています。百聞は一見にしかず。You TubeのQRコードを載せていますので是非ご覧ください。



HWHまちづくりTV



## 篠山産業高校

SDGs(持続可能な開発目標)を学び、考えを広める

私たちが取り組んだことは4つです。まず「ラオスに学校を」ではCHISE(チーズ)という学生団体と活動しました。リモートで現地の様子を見ることができラオスの問題を確認することができました。「みまもりあい活動」はアプリを利用し行方不明者を探すプロジェクトです。ダウンロードすれば誰でも協力者になれます。「子ども食堂」では実際に沼貫子ども食堂に参加しています。お腹を空かせている子をゼロにし地域交流の場を提供する事を目標にしています。最後に「ゼロ円ショップ」ですが、家庭で不要になったものをゼロ円で必要としている人に提供する活動です。1年間活動し、1回きりでは効果は得られないので活動を知ってもらい継続し、SDGsの事を気にしながら生活して欲しいと思います。



## 丹波の森若者塾合同フォーラム

「丹波の森若者塾」合同フォーラムが、令和7年2月1日(土)に県立丹波の森公苑多目的ルームで開催されました。このフォーラムでは、丹波地域の県立高校5校の生徒が大学等と連携して地域の様々な課題について研究した成果を発表しました。5校の生徒は、パワーポイントを使用して活動内容を中心に発表しました。発表を見守る中で、東洋食品工業短期大学の奈賀教授からはそれぞれの活動内容に対する評価や今後の展開に関するアドバイスが行われました。また、石川県議と大上県議から激励の言葉や貴重な意見が寄せられ、生徒たちは地域社会との交流を通じて新たな視点を得ることができました。丹波地域の未来を担う若者たちの活動に期待が高まります。彼らが様々なかたちで地域社会に貢献し、成長していく姿が、地域全体に希望をもたらすことでしょう。(活動内容はP3をご覧ください)



## 少年の主張兵庫県大会-中学生のメッセージ2024-

主催 兵庫県青少年本部 共催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 令和6年9月28日(土) 兵庫県民会館

少年の主張大会は、中学生が日常生活の中で心からの思いや考え、感銘を受けたことなどを自分自身の言葉でまとめ、それを広く発表する機会を提供することにより、多くの大人に今の中学生への理解と関心を深めてもらうとともに、中学生世代への意識啓発をねらいとして、昭和54(1979)年の「国際児童年」を契機として始まりました。兵庫県大会にて、丹波代表として発表された丹波市立氷上中学校3年の足立美樹さんが優秀賞を受賞されました。



## ひょうご子ども・若者応援団

企業や団体等から提供される多様な資源を青少年育成活動に取り組む団体・グループに橋渡しをしています

### マッチング事業

青少年の健全育成を目的として活動する団体・グループに対して、企業などから提供いただいた資源(物資・人材など)を橋渡します。資源の提供には「ひょうご子ども・若者応援団」への登録が必要です。

### 令和6年度マッチング例

お菓子・飲料・クラフト材料・プリザーブドフラワー・虫よけスプレー・香取線香 等

### 一般助成事業

青少年育成活動を展開する青少年団体・グループ等の運営基盤の安定化と活動の充実・活性化をめざして、同団体・グループ等が実施する自然体験・社会参加・青少年リーダーの養成などの青少年育成事業に対して1件あたり10万円を限度として助成します。



お問い合わせ

公益財団法人兵庫県青少年本部  
「ひょうご子ども・若者応援団」担当

〒653-0023  
神戸市長田区腕塚町5-3-1アスタくにつか  
1番館南棟3階

ホームページ<https://seishonen.or.jp/>  
※登録書類はホームページからダウンロード  
できます。

